





鶴丸国永は考えた

R
|
18



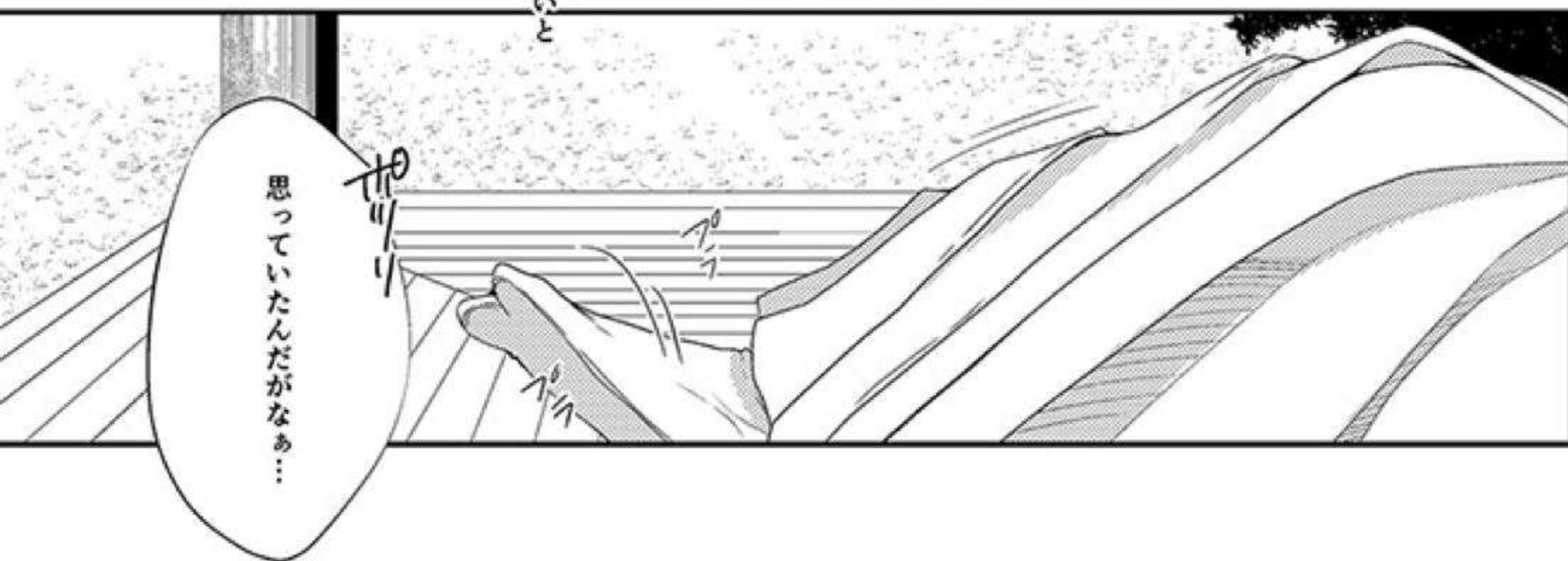
鶴丸国永は考える



うちの主は
大人しく善良な審神者だ



顕現したての頃は
それが退屈でつまらないと
思っていた



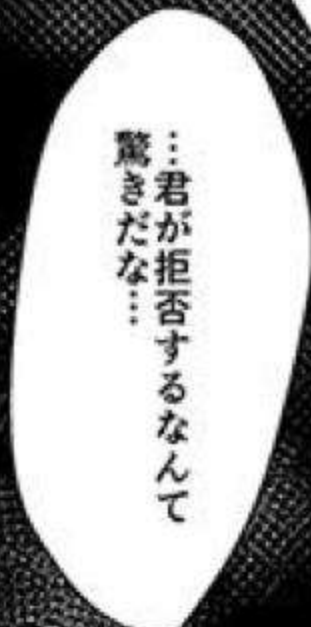
思っていたんだがなあ…




カラ...










他の奴らには神隠しをしないって
条件で承諾を買った
むしろ君をこの本丸に永久に
繋ぎ止められるって喜ばれたさ



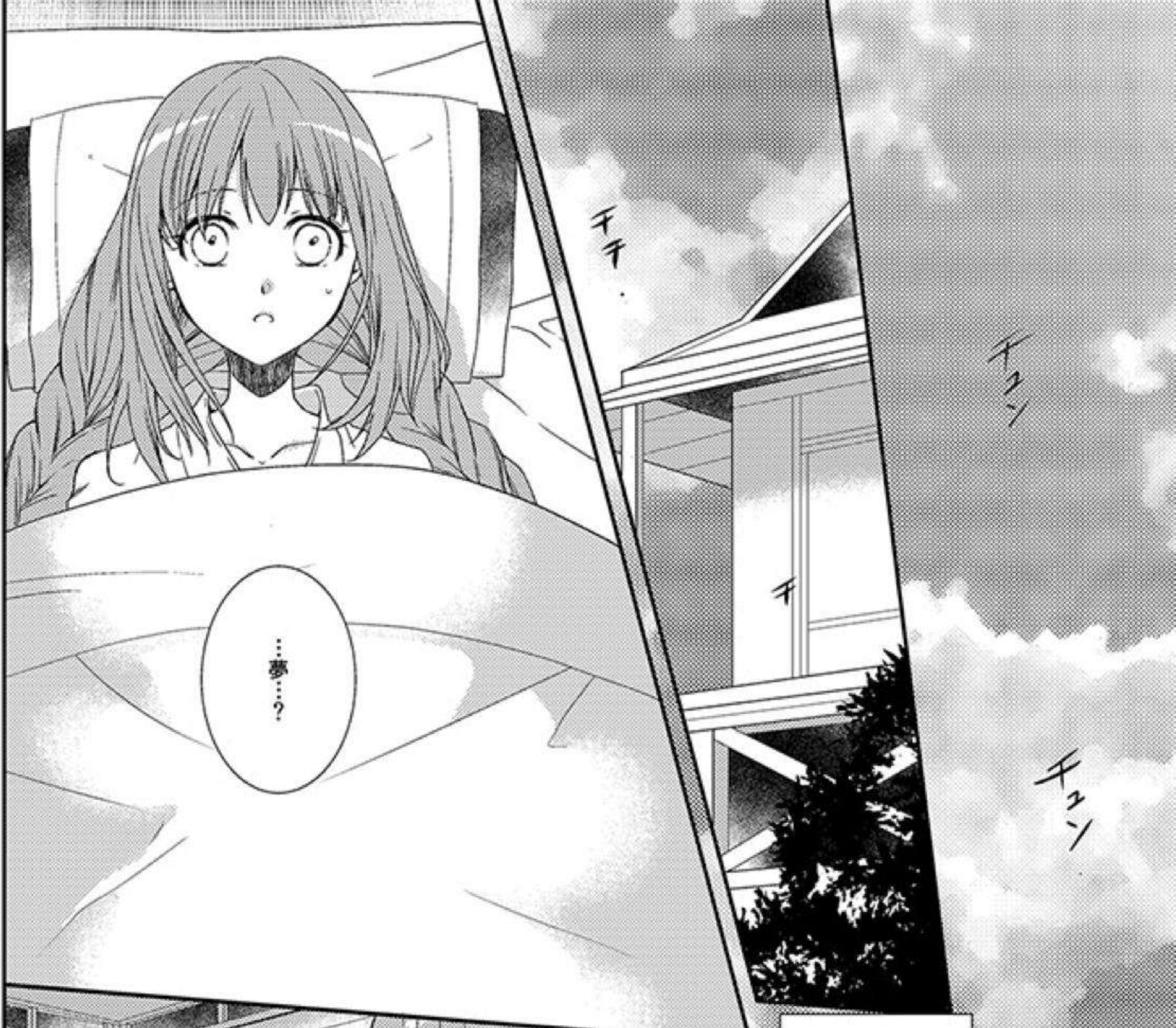
…そ…んな…



心配する事はないさ
神気は少しづつ馴染ませてる



仕上げは明日の
婚姻の儀でな…



…夢…?

フフ

フユン

フユン



ひどい夢…
あの鶴丸様が
あんな事言
ないじゃない…

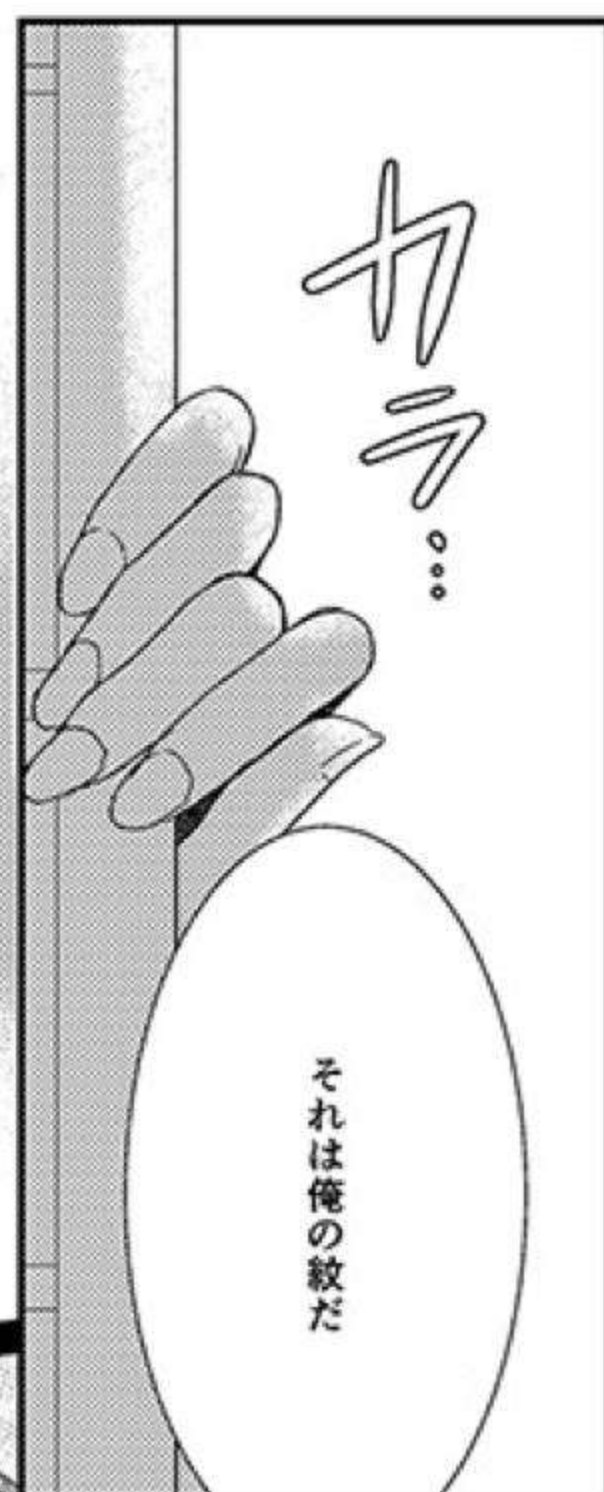


え…?



起きよう…

10/4





俺が 君にいつ 惹かれ始めたのか

散々考えたが ついぞ分からず終いだっただ



きつとそれは

ありふれた日常に

あったのかもしれない



隠れて そっと涙する姿も

短刀達とのふれあいに
喜ぶ君も



君は俺の心とやらに
すっかり入り込んでいたんだ



鶴丸の旦那

大将連れて来たぜ



…大将に
ひでえ事すんなよ…



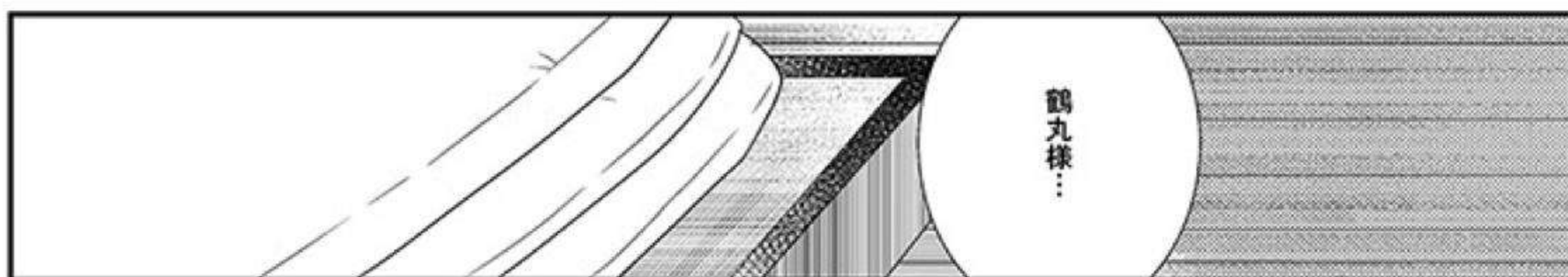
わかってる…

花嫁相手に無体は
働かんさ

君とずっと一緒にいるために

君の未来を積んでしまう事を

どうか許してくれ



鶴丸様...



あの...婚礼の儀...をされるという事は...鶴丸様は...私の事が好き...なんでしようか...?

え...

ああ憶れているぞ!



ぶ...ぶろほ...ず? それはなんだ?

結婚をちゃんと申し込むことです!

それならちゃんとプロポーズして下さい!



やるならちゃんとして下さい!!

ぽかーん

あはっ



主…
俺の嫁になってくれるか？

君は本当に俺を飽きさせないな!!

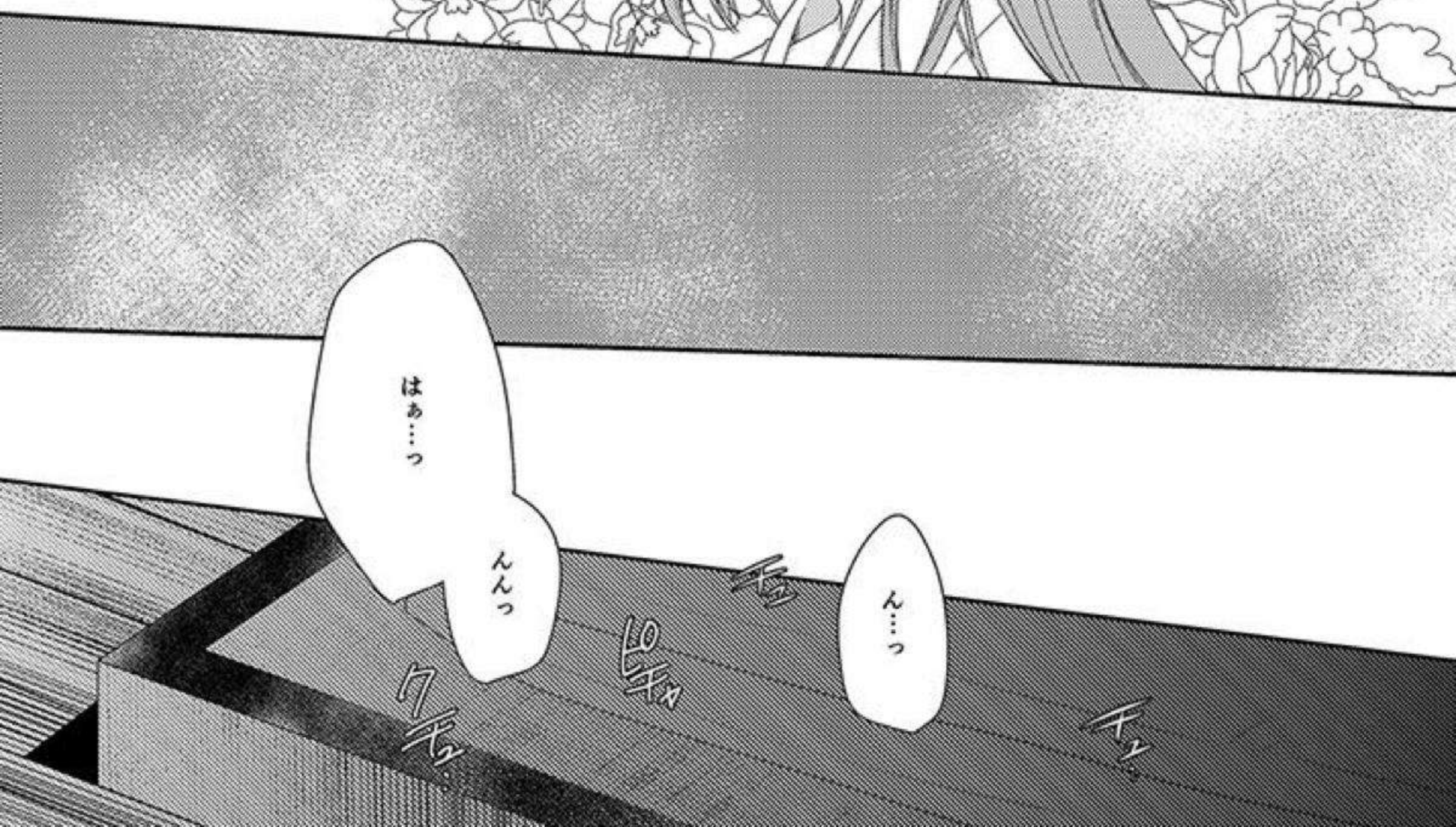
あはははっ

え？

え？



…はっ



はっ…っ

ん…っ

クツ

フ

フ



ちゅるまゆしやまあ...
ひもち...ひい...っ

びびり

ちゅるまゆしやまあ

もっ

いっばい...
奥...コンコンしめてえ



ん

ん

ん

ちゅるまゆしやまあ...



あ...あ...あ

あ...あ...あ

あ

あ

ふあ



あん
うん...うん...うん...
うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん



うん

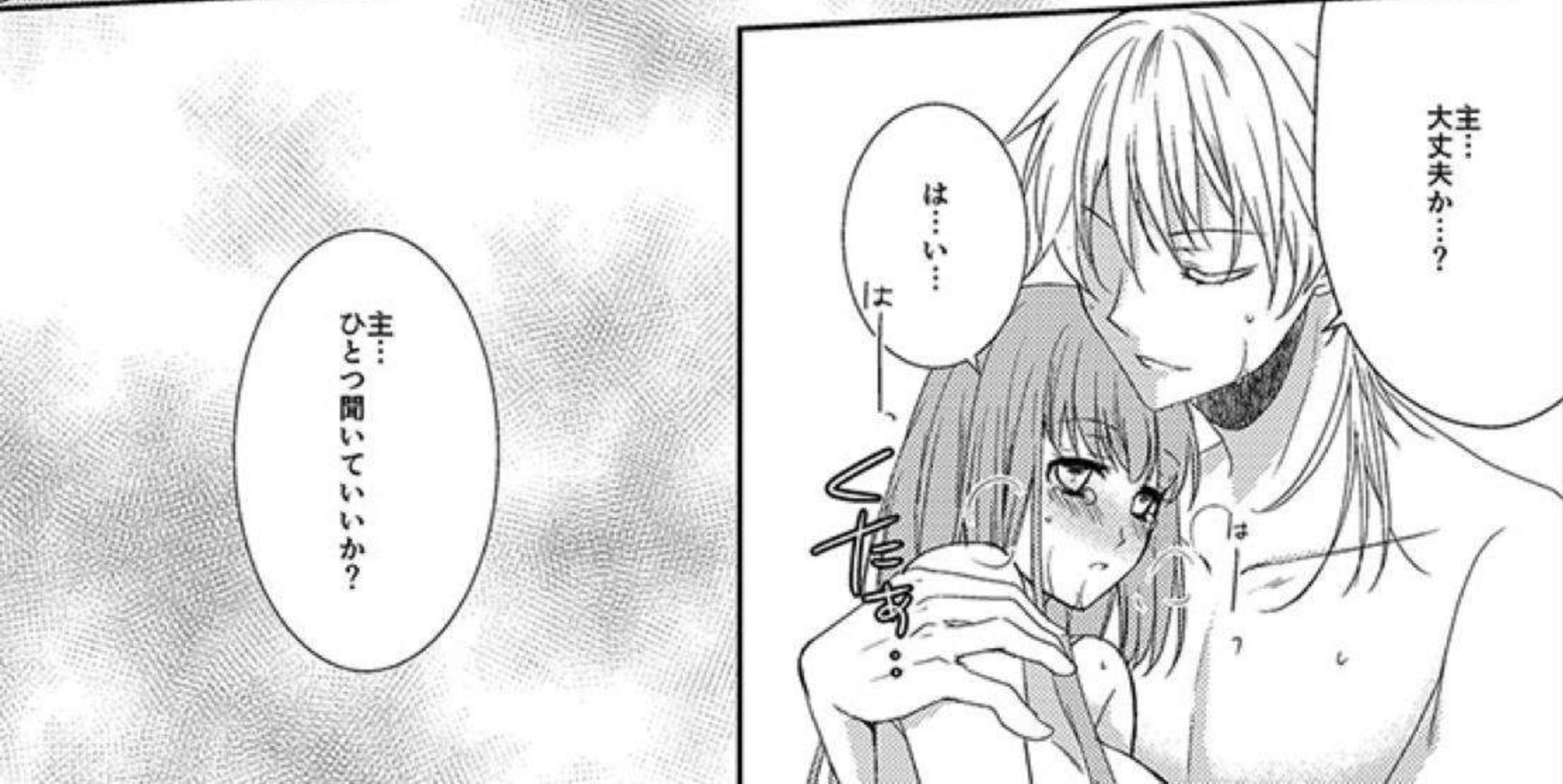
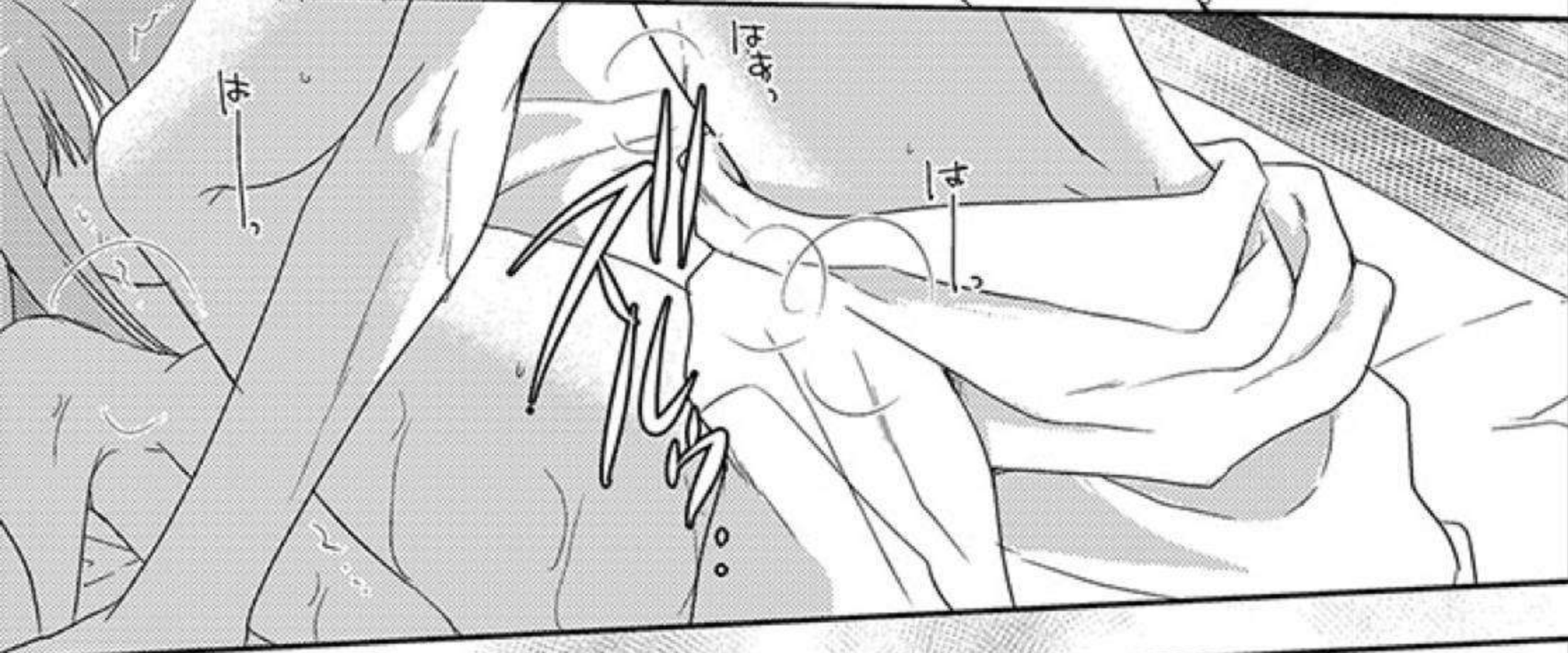
うん

うん

うん

俺の神気を
注ぎ込むぞ...っ!!

うん



は...あ

ドクドク

は...あ

あ...
あ...

は...あ

は...あ

は...あ

は...あ


主...
大丈夫か...?

は...あ

主...
ひとつ聞きたいですか?

は...あ

は...あ



俺は君に
惚れている…

なら…君は…？
君は俺を好んでいるのか…？



鶴丸様ったら

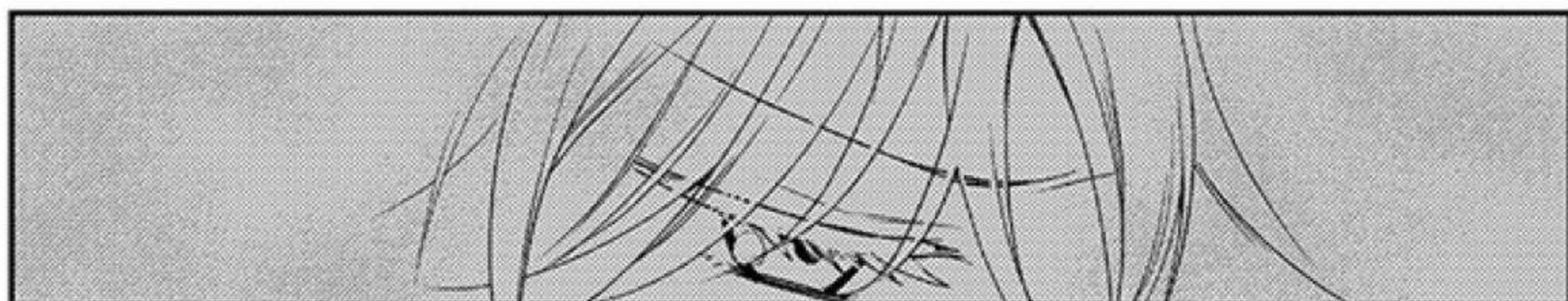
馬鹿な事仰らないで
下さいませ…

私は「刀剣男士」の贄として
ここに連れてこられました
皆様のご意思ならば
それに従うまでです





…そうか…



君を本当に手に入れるには どうしたらいいんだろうな